

病害虫発生予察特殊報第2号

平成21年1月27日
三重県病害虫防除所

本県において、ランツボミタマバエの発生が初めて確認されたので特殊報として発表します。

1 病害虫名 : ランツボミタマバエ *Contarinia maculipennis* Felt, 1933

2 発生確認作物名 : デンファレ (ランの一種)

3 発生確認地域 : 南勢地域

4 発生確認の経過

平成20年8月、南勢地域の施設で栽培されているデンファレの蕾がウジ状の幼虫によって加害される被害が報告されました。独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所の上地奈美研究員に同定を依頼したところ、県内で未発生のランツボミタマバエであることが確認されました。

本種は、東南アジアに分布の中心があると考えられており、国内では1989年に沖縄県、2005年に福岡県、2006年に宮崎県のデンファレで発生が確認されています。

5 本害虫による被害と生態

(1) 被害

本種に加害された蕾は落蕾や奇形花を引き起こし(写真1)、開花前に落下するか、開花しても花びらに傷がつくため(写真2)商品価値がなくなります。

(2) 形態

ハエ目 : タマバエ科

幼虫は薄黄色で体長は約2 mm(写真3)、成虫の体長(羽を含まない)は約1.5mmで蚊に似ています。

(3) 生態

幼虫は、一つの蕾に数十頭寄生することがあります。

終齢幼虫は、跳びはねて移動し、土中や鉢土の中で蛹となり羽化します。

(4) 寄主範囲

国内ではデンファレとニガウリでの加害が確認されています。

6 防除対策

(1) 施設外への脱出に注意するとともに、施設内の防除の徹底を図ってください。

(2) 本種が発生しているラン栽培施設では、植物体上の被害蕾や地上に落下した蕾を速やかに除去して幼虫の拡散を防いでください。また、つま取った被害蕾は袋などに密閉して適切に処分してください。



写真1 加害による奇形蕾



写真2 加害による奇形花



写真3 ランツボミタマバエの幼虫
(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所上地奈美研究員提供)

住所 三重県松阪市嬉野川北町 530

電話 0598-42-6365

FAX 0598-42-7568

URL <http://www.mate.pref.mie.jp/bojyosyo/>

